kurashi@mainichi.co.jp

ソウザキさんの京都 長屋再生術 ■3■

古材活用 風情醸す

「時間が作った格好良さ」■ 築90年の老舗 再生

マリンバ奏者、通崎睦美さんが再生した長屋で、最も個性的なのが玄関の扉だ。普段の出入りには胸の高さのくぐり戸を使い、荷物を運び込む際は天井までの大戸全体を開く。構造に加えて特徴的なのは素材。年季の入った木材が使われ、よく見ると、真ん中の横桟（さん）は何と敷居だった。

すべて、解体された町家から提供を受けた古材だ。大戸の板材は畳の下に敷かれていた床材で、くぐり戸は板戸を解体し幅、高さともに縮めた。真ちゅうの郵便受けも時代を感じさせる。他にも十数カ所のガラス戸や床板、エアコンのルーバー、果ては電気のスイッチや庭の沓脱（くつぬぎ）石まで古材が使われている。

通崎さんと古材の出合いは偶然だった。ある日、自転車で自宅近くを走っていて、絞りの老舗「上田善」の店の前に「マンション新築工事」の看板を見つけた。上田善は明治初年創業で、建物も1922年築、敷地面積約230平方メートル（約70坪）という堂々たる大店。解体寸前であることを知り、子供の頃から店の前を通っていた通崎さんは「強烈に『もったいない』という気持ちに襲われ、後先考えずに問い合わせの電話をかけていた」と振り返る。

上玄関のくぐり戸から顔をのぞかせる通崎さん。敷居を転用した横桟、郵便受けなど、上田善から提供された古材がパッチワークのように活用されている 下解体前の上田善

上田善の建物は、NPO法人「古材文化の会」に登録していた。同会は古民家・古材の再生と木造建築文化の継承を目指し、京都の設計者と施工者らが94年に結成。現在は約250人の会員が全国で活動している。さまざまな事情で取り壊されることになった古民家の情報を集め、古民家の所有者と古材の利用希望者を結びつけている。

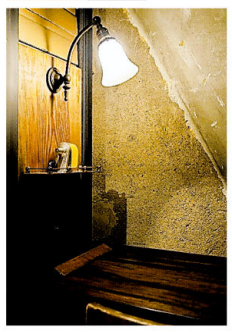
利用希望者は解体前に下見し、希望部材を事務局に伝える。古材は先着順ではなく、より有意義な利用法を提案した人に無償で提供される。古材を使った新築やリフォームを考えている人にはうってつけで、通崎さんも会を介して貴重な古材を譲り受けた。

会の発足当初から手弁当で運営に携わってきた建築家、瀧澤雄一郎さんは「日本の風土に育まれた木造建築は伝統文化そのもの。やむを得ず取り壊される場合も何らかの形で生かし、古材とともに持ち主の思いを救いたい」と語る。

□

一口に古材と言っても、古民家の建具を再利用するのは一苦労だ。通崎さんの長屋では、木工を中心に活動するアーティスト、池上将暢さんが活躍した。

例えば1階の庭に面した開口部は、上田善で使われていた大ぶりのガラス戸を生かすため、元の柱を切って間口を広げた。逆に2階奥の窓は、ゆがんでひし形になっていたため、新材を足して長方形に修正。ガラス戸を分解し、開口部に合わせたサイズに縮小した。キッチンの両開きの扉は、上田善のガラス戸に合わせ、別の部材でガラス戸をもう1枚作るという離れ業で完成させた。



上上田善のガラス戸をはめ込んだトイレの窓 下上田善の床の間の棚に使われていた黒柿の板を作業机に転用。飾り棚や電気のスイッチも上田善の古材 ＝いずれも平野愛さん撮影

池上さんは「一から作るのと同じぐらい手間がかかったけど、古材には時間が作り上げた格好良さがある。それを生かしながら、いかに必要な状態に持っていけるかが面白さでもあり、難しさでもあった」。古材を提供した上田善の当主、上田裕之さんは「思い出の詰まった家が生まれ変わり、命を延ばすことができた。先祖が建てた家を解体することへの罪悪感も少しは救われた。何より、部材を生かそうと一生懸命考えてもらえたことに感動した」と語る。

この他、2階の床に上田善の天井板や床板を使い、ぬれ縁には階段の部材を転用するなど、時代のついた木材で落ち着いた風情が添えられた。一方、古材が足りなかったため、1階の床は無塗装のクリ材にエゴマ油を塗って仕上げている。

設計を担当した建築家の堀川勝史さんは「あまり多種類の素材を使わず均一化する」という建築の常識に反しているのに、結果的にすごくしっくりと落ち着いた」と語る。長屋にはその後も、土を突き固めた版築の壁や漆和紙の壁、マリンバ鍵盤を使ったスイッチプレート、アンティークのランプシェードなど、多種多様な素材がちりばめられていった。【澤木政輝】

（カットは画家の谷本天志さん）

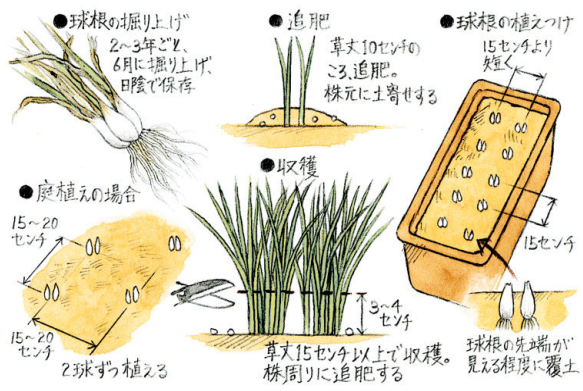
＝次回は10月13日掲載

おことわり　装う面の「ドクター吉木のやさしいスキンケア第16回」は15日に掲載します。

四季のガーデニング

山田幸子

アサツキを育てる



アサツキは日本原産、ネギ科（またはユリ科）の多年草。球根も3～4月に収穫し、ゆがいて食べられる。

イラスト・角慎作

アサツキを育てませんか。ネギの仲間で葉が細いので、イトネギとも呼ばれています。ハーブの一種として知られるチャイブ（セイヨウアサツキ）の変種ですが、チャイブよりやや辛みがあるようです。

ゆがいてあえものに、また炒めものにすると美味。細かく刻んで薬味にもするので、プランターや庭の片隅に植えておくと重宝します。暑さや寒さに強く、一度植えると2～3年はそのままで収穫できるのも魅力です。

アサツキの栽培は、球根（タネ球）からスタートします。園芸店やインターネットなどで入手しましょう。

植えつけ適期は、寒冷地では8月中旬～9月中旬、関東地方で8月下旬～9月下旬、さらに暖かい地域では10月上旬までです。

プランター栽培の場合、深さ15センチあれば十分です。お手持ちのものを使いましょう。土は市販の野菜用培養土（元肥入り）を用意します。

さあ、植えつけです。プランターに9分目ほど培養土を入れ、たっぷり水やりします。10センチ間隔で2本線を引き、15センチ間隔で深さ5センチの穴をあけ、1カ所に2球ずつ植えます。球根の先端がわずかに見える程度に覆土します。置き場所は日当たりのよいところ。土の表面が乾いたら、たっぷり水やりします。

2～3週間で芽を出します。草丈10センチになったら、化成肥料を規定量与えておきます。

収穫は草丈15センチ以上になったころから。株元を3～4センチ残して切ると、新たな葉が伸びて、また収穫できます。収穫後、化成肥料を少量、株元に施して成長を促しましょう。

春と秋 2～3年収穫

基本的には10月～12月上旬と4～5月が葉の収穫期。初夏に咲く淡紫色の花も、サラダなどの彩りにして食べられます。

夏は休眠期に入り、葉を枯らします。2～3年もすると分球して大株になるので、6月に球根を掘り上げ日陰で保存し、秋に1球ずつバラして植え直します。

庭植えの場合は、日当たりと水はけのよい場所を選びます。植えつけ1週間前までに、1平方メートル当たり堆肥や腐葉土を合わせて2キロ、緩効性化成肥料100グラムを入れてよく耕します。15～20センチ間隔で、1カ所2球ずつ、球根の先端が見える程度に覆土して植えつけ、同じように育てます。

（園芸研究家）

あなたの水は安心ですか？
今、飲んで欲しい水です。

DHC海洋深層水

私たちにとって、環境の「安全」は、当たり前ではなくなりました。
しかし、毎日飲む水、生きていく上で欠かせない水は、
「必ず」安心できるものでなければなりません。

DHC海洋深層水は、静岡県伊豆赤沢沖、日本最深※1 800mの海洋深層水が水源。太平洋を循環し1000年以上※2もの歳月を経て伊豆赤沢にたどりついた、清浄な水です。

水深200mより深い海の水は、一般に海洋深層水と呼ばれ、表層水と混ざり合わないことが特徴。「生活排水」「放射性物質」「ゴルフ場などの農薬」の影響を直接的に受ける河川水や地下水とは全く異なった水源です。

DHC海洋深層水は、日本一深い※1、水深800mから取水を実現したことから、とても清浄な水といえます。例え伊豆赤沢の海に放射性物質が降り注いでも、その影響は表層水と比べてはるかに小さいといえます。また、黒潮が南から北上し房総半島付近から東へ抜ける影響で、現在危惧される海洋の放射性物質が、伊豆赤沢の海に流れる心配もほとんどありません。

今、心から安心して飲んでいただける水を、DHCからお届けします。

※1海洋深層水取水施設（陸上設置型）/17箇所中（DHC・大成建設調べ）2008年2月現在　※2 株式会社 加速器分析研究所調べ

100mlあたり　ナトリウムとして5.10mg、カルシウムとして0.21mg、マグネシウムとして0.64mg、カリウムとして0.21mg 硬度32mg／ℓ（軟水）0kcal

DHC海洋深層水は、お客様に安心をお届けするため、放射能の検査を独自に実施！

8/18～8/30の測定結果★

ヨウ素131	検出なし
セシウム134	検出なし
セシウム137	検出なし

分析機関：（株）環境管理センター「分析センター」東京都八王子市　「本社」東京都日野市

★測定期間のうち9日間測定 検出下限値1Bq/kg以下

DHC
化粧品・健康食品部門 No.1
2010年8月5日・12日合併号 日本流通産業新聞 通販・通教・EC売上高ランキング

海洋深層水でこの価格はDHCだけ！

民間企業でDHCが初めて水深800mの「日本一深い※1」取水施設を設置！

取水施設の設置にコストがかかることから、一般的に高価な海洋深層水。DHCは民間企業で初めて水深800mという日本一深い海から取水しています。取水から充填まで一貫して自社でおこなうことと、お客様に安心して水を飲んでいただきたいという思いで、低価格を実現しています。

☆1本あたり 小数点以下切り上げ

メーカー	500ml☆	2ℓ☆	取水水深
DHC	120円	240円	800m
M社	157円	420円	374m
H社	約158円	357円	320m

※「DHC海洋深層水」は2ℓも販売しております。　2011年8月現在　DHC調べ

今だけ1箱（24本）無料でお試しいただけます！

「DHC海洋深層水」を初めて購入する方
先着2万名様限定・一世帯様1箱限り
※今までに「DHC海洋深層水（500ml/2ℓ）」をご購入されたことのない方を対象とさせていただきます。

限定番号 13422　新聞限定 DHC海洋深層水 500ml×24本 1箱
通常価格2,880円（税込・送料込）が、
お試し価格 無料（送料込）10/12（水）まで なくなり次第終了

●必ず限定番号「13422」をお伝えください。お伝えいただけなかった場合は、「お試し価格無料」の対象外となります。●一世帯様1箱限り。同一世帯様からのお申し込みは対象外となり、当社からご連絡なく発送を控えさせていただく場合がございます。名前・住所・電話番号等を変更してのお申し込みはお受けできませんのでご了承ください。●産地直送のため、他の商品とは別送になります。●他の商品と一緒にご注文いただいても、DHC海洋深層水以外のご購入合計金額が税込総額3,000円未満の場合は、通常通り一律送料500円がかかります。●お届けは10日前後が目安。ご注文状況により、2～3週間かかる場合がございます。●返品・交換は到着後10日以内の未開封品が対象で、お客様のご都合による場合の返送料は、お客様ご負担とさせていただきます。

ご注文は オペレータ応答フリーダイヤル 年中無休（年末年始をのぞく） 9:00～20:00（日・祝日は17:00まで） ※ご注文の際には、必ずオペレータに「媒体（バイタイ）番号7301」とお伝えください。
0120-333-906
◆掲載商品のパソコン注文はこちらからどうぞ 24時間受付（年中無休）
キレイとげんきDHC 検索

商品の内容・使用方法はこちら ◇9:00～20:00（日・祝日をのぞく）
DHC健康食品相談室（健康食品、医薬部外品、医薬品） 0120-575-368
ご相談内容に応じて、医師・薬剤師・管理栄養士など、専門のスタッフがお応えします。

返品・交換・その他のお問い合わせはこちら ◇9:00～20:00（日・祝日をのぞく）
DHCお客様サービスセンター 0120-575-391
※相談室・サービスセンターでは、商品のご注文は承っておりません。

媒体（バイタイ）番号 7301

●お客様の個人情報は、弊社の商品・サービスの発送、提供及び関連する情報のお知らせのために利用させていただくことがあります。　株式会社DHC 〒106-8571東京都港区南麻布2-7-1